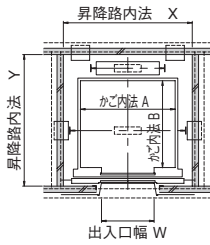


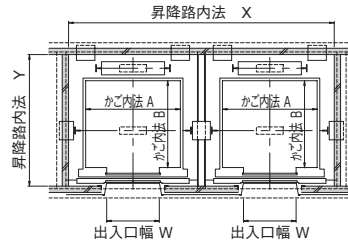
2 乗用エレベータ

2.1 一般用エレベータ

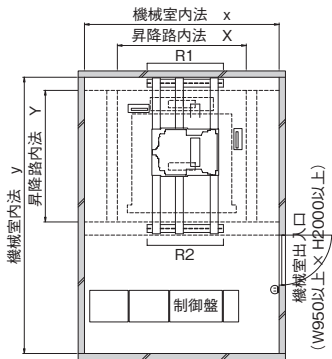
■一般乗用エレベータ据付図(速度120~210m/min)



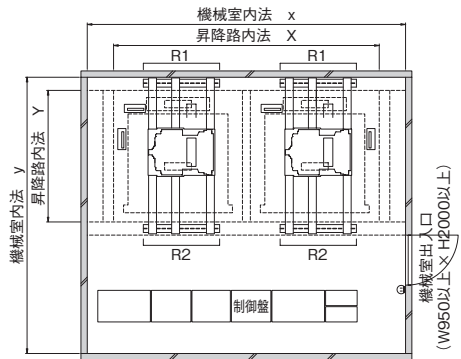
昇降路平面図



昇降路平面図

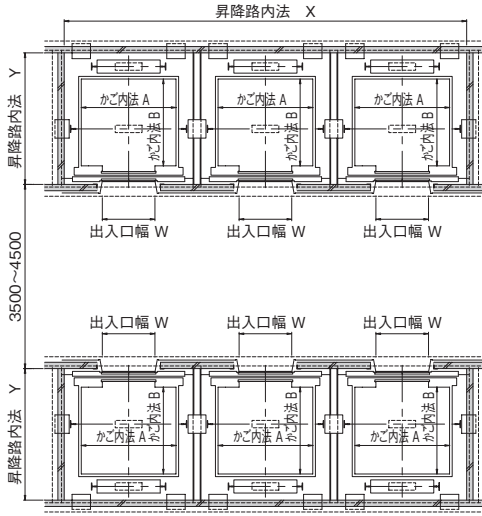


機械室平面図

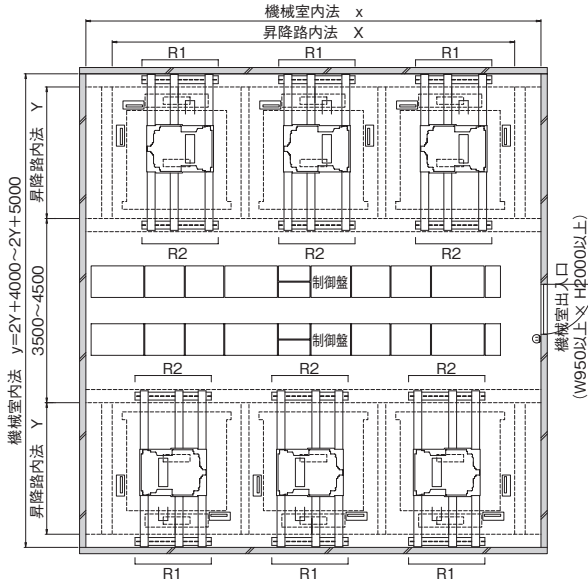


機械室平面図

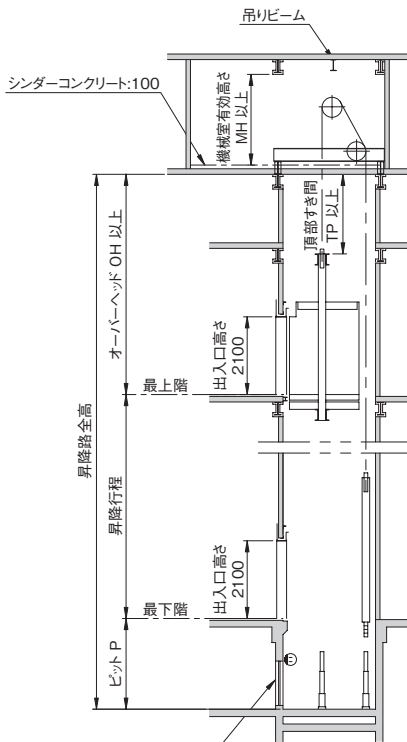
■一般乗用エレベータ据付図(速度120~210m/min)



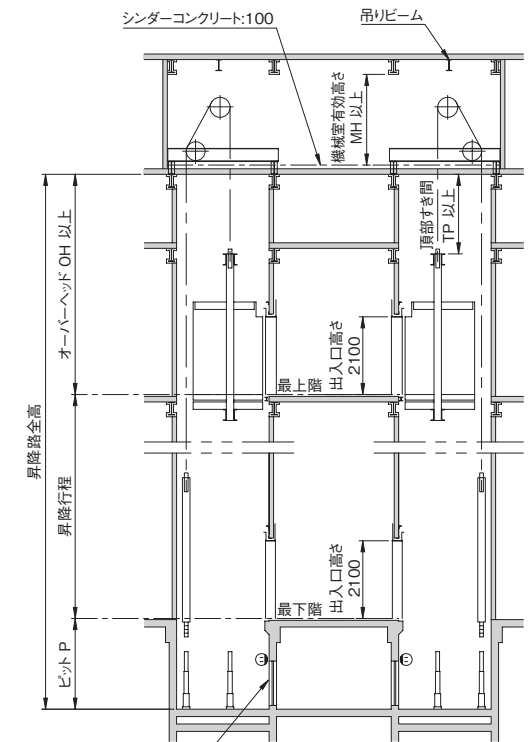
6台1グループ対面配置 昇降路平面図



6台1グループ対面配置 機械室平面図



昇降路断面図



6台1グループ対面配置
昇降路断面図

昇降路・機械室寸法 機械室サイズについては小さくできることがあります。詳細はお問い合わせください。

形式	定員 (人)	積載 (kg)	出入口幅 W (mm)	かご内法 (mm)	昇降路内法(mm)			
					1台設置	2台並設	3台並設	4台並設
				間口 × 奥行 A × B	間口 × 奥行 X × Y	間口 × 奥行 X × Y	間口 × 奥行 X × Y	間口 × 奥行 X × Y
P-15-C0	15	1000	900	1600×1500	2250×2400	4650×2400	7050×2400	9450×2400
			900	1700×1400	2350×2300	4850×2300	7350×2300	9850×2300
			1000	1800×1300	2450×2200	5050×2200	7650×2200	10250×2200
P-17-C0	17	1150	1000	1800×1500	2450×2400	5050×2400	7650×2400	10250×2400
			1000	1900×1400	2550×2300	5250×2300	7950×2300	10650×2300
			1100	2000×1350	2650×2250	5450×2250	8250×2250	11050×2250
P-20-C0	20	1350	1000	1800×1700	2450×2600	5050×2600	7650×2600	10250×2600
			1000	1900×1600	2550×2500	5250×2500	7950×2500	10650×2500
			1100	2000×1500	2650×2400	5450×2400	8250×2400	11050×2400
P-24-C0	24	1600	1100	2000×1750	2650×2650	5450×2650	8250×2650	11050×2650
			1100	2100×1650	2750×2550	5650×2550	8550×2550	11450×2550
			1100	2150×1600	2800×2500	5750×2500	8750×2500	11650×2500

形式	機械室内法(mm)				機械室床にかかる荷重(kN)	
	1台設置	2台並設	3台並設	4台並設	R1	R2
	間口 x 奥行 x y	間口 x 奥行 x y	間口 x 奥行 x y	間口 x 奥行 x y		
P-15-C0	3700×5150	5650×5150	8050×5150	10450×5150	150	86
	3700×5050	5850×5050	8350×5050	10850×5050		
	3700×4950	6050×4950	8650×4950	11250×4950		
P-17-C0	3700×5150	6050×5150	8650×5150	11250×5150	152	89
	3700×5050	6250×5050	8950×5050	11650×5050		
	3700×5000	6450×5000	9250×5000	12050×5000		
P-20-C0	3700×5350	6050×5350	8650×5350	11250×5350	155	92
	3700×5250	6250×5250	8950×5250	11650×5250		
	3700×5150	6450×5150	9250×5150	12050×5150		
P-24-C0	3700×5400	6450×5400	9250×5400	12050×5400	182	112
	3700×5300	6650×5300	9550×5300	12450×5300		
	3700×5250	6750×5250	9750×5250	12650×5250		

注1)昇降路および機械室平面図の据付寸法は柔構造(S造)の場合を示します。

注2)昇降路および機械室平面図の据付寸法は、つり合いおもり非常止め装置付きの場合を示します。

注3)ピット衝撃荷重については別途お問い合わせください。

注4)速度180m/min以上の1台設置は昇降路内法を大きくする必要があります。別途お問い合わせください。

注5)昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA₁₄が基本仕様です。耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。

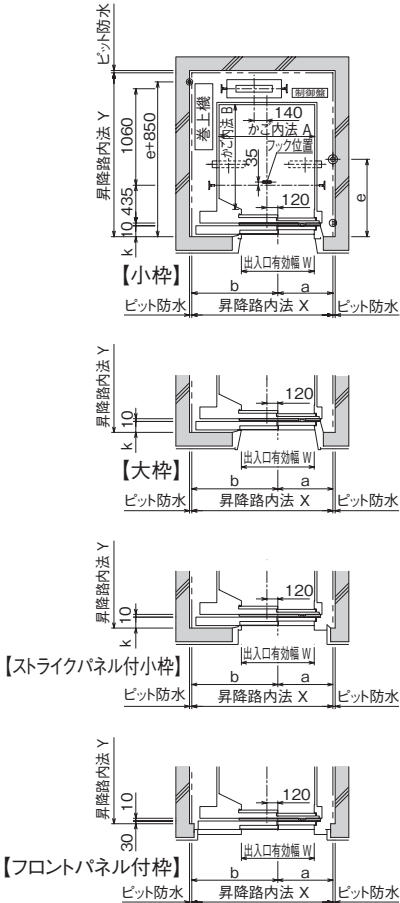
注6)機械室床にかかる荷重は1台当りの荷重を示します。

速度 (m/min)	ピット 深さ P(mm)	オーバー ヘッド OH(mm)	頂部 すきま TP(mm)	機械室 有効高さ HM(mm)
120	2150	5400	1850	2250
150	2450	5600	2050	2250
180	2750	5900	2350	2550
210	3250	6400	2750	2550

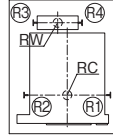
注1)オーバーヘッド寸法は出入口高さ、かご室意匠が標準的な仕様の場合です。

2.2 エクシオール 標準型 R(住宅用)

■昇降路がRC造の場合の寸法例(R-6:一方向出入口)



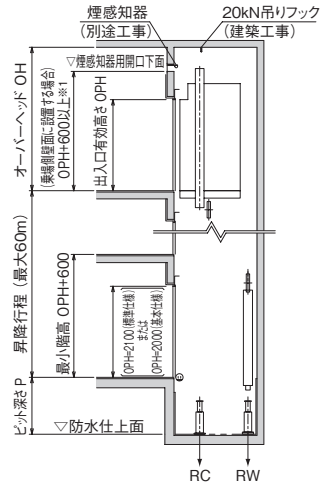
昇降路平面図



レールに作用する荷重値			
P y		P x	P y
	かご	PC1	PC2
	おもり	PW1	PW2

ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ下階FL-200→+200 引出し電線長さ6500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ下階FL+H 引出し電線長さH+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ下階FL-200~0 引出し電線長さ3500mm	電源引き込み位置 引き込み高さ下階FL+H 引出し電線長さH+3500mm	(電気工事)
ⓔ	点検用コンセント100V 引き込み高さ下階FL-200→+200	点検用コンセント100V 引き込み高さ下階FL-200→+200	(電気工事)



昇降路断面図

※1. 幕板付の場合を除きます。幕板付きまたは乗場側以外の壁面に設置する場合は、お問い合わせください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッドOH		
			フロント パネル付枠	左記以外	昇降行程		
					30m 以下	45m 以下	60m 以下
R-6-2S- 45	1050×1150	800	1550×1700	1550×1800	3000	3050	3150
R-6-2S- 60			1600×1750	1600×1850	3350	3400	3500
R-6-2S- 90					3450	3500	3600
R-6-2S-105							

(単位:mm)

型式	ビット深さP		a	b	k		e	
	標準	最大			※1	※2	フロント パネル付枠	左記以外
R-6-2S- 45	1250	1550	605	945	130	120	750	850
R-6-2S- 60			630	970				
R-6-2S- 90								
R-6-2S-105								

注1) 昇降路内法はJIS A4301-1983によります。

注2) 昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注3) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注4) ビット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注5) ビット下部は原則として使用できません。

注6) 昇降路耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA₁₄が基本仕様です。

耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注7) k寸法は下記条件で異なります。

※1:「遮煙エレベータ乗場ドア適用」+「フロントパネル付枠以外」でかつ

押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

(注) フロントパネル付枠の場合、戸袋側への押ボタン・インジケータ・インターホンボックスの取付不可

※2: 上記以外

注8) e寸法は注7) 項の※1の条件の場合、+10となります。

注9) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注10) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注11) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注12) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注13) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

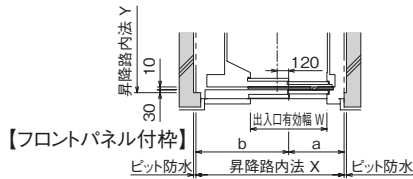
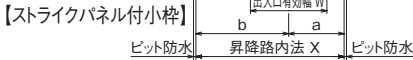
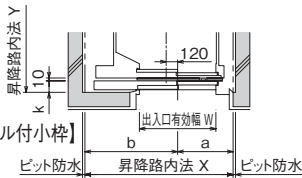
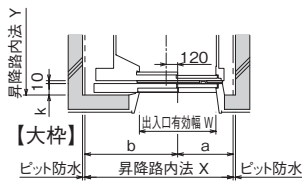
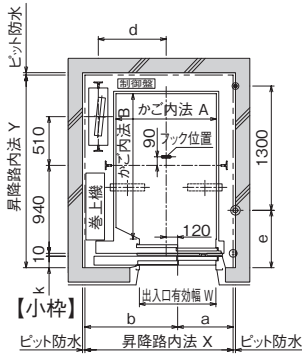
(単位:kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-6-2S- 45	18	15	33	12	55	51	4.8	3.4	5.7	3.4
R-6-2S- 60					69	65				
R-6-2S- 90					74	70				
R-6-2S-105					75	71				

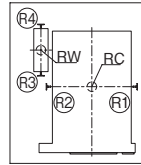
注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA₁₄)

注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例(R-9: 一方向出入口)



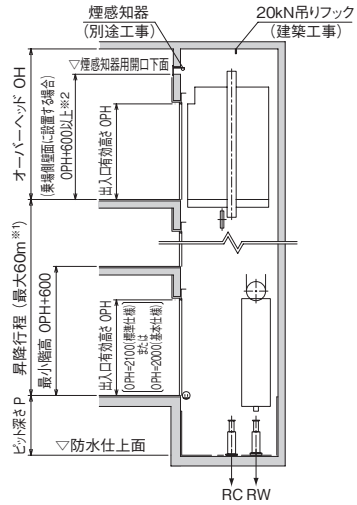
昇降路平面図



レールに作用する荷重値	
P_y	P_x P_y
P_x	かご PC1 PC2
おもり	PW1 PW2

ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引き込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ6000mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+6000mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3000mm	(電気工事)
Ⓧ	定格用コンセント100V 引き込み高さ最下階FL-200~+200	定格用コンセント100V 引き込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)



昇降路断面図

- ※1. 昇降行程が60mを超える場合は、お問い合わせください。
- ※2. 幕板付の場合を除きます。幕板付きたまたは乗場側以外の壁面に設置する場合は、お問い合わせください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッドOH		
			フロント パネル付枠	左記以外	昇降行程		
					30m 以下	45m 以下	60m 以下
R-9-2S- 45	1050×1520	800	1550×2100	1550×2200	3000	3050	3150
R-9-2S- 60					3350	3400	3500
R-9-2S- 90			1600×2150	1600×2250	3450	3500	3600
R-9-2S-105					3450	3500	3600

(単位:mm)

型式	ピット深さP		a	b	d	k		e	
	標準	最大				※1	※2	フロント パネル付枠	左記以外
R-9-2S- 45	1250	1550	580	970	710	130	120	500	600
R-9-2S- 60									
R-9-2S- 90			605	995	715				
R-9-2S-105									

注1) 昇降路内法はJIS A4301-1983によります。

注2) 昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注3) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注4) ピット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注5) ピット下部は原則として使用できません。

注6) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA₁₄が基本仕様です。

耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注7) k寸法は下記条件で異なります。

※1: 「遮煙エレベータ乗場ドア適用」+「フロントパネル付枠以外」でかつ

押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

(注) フロントパネル付枠の場合、戸袋側への押ボタン・インジケータ・インターホンボックスの取付不可

※2: 上記以外

注8) e寸法は注7) 項の※1の条件の場合、+10となります。

注9) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注10) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注11) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注12) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注13) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

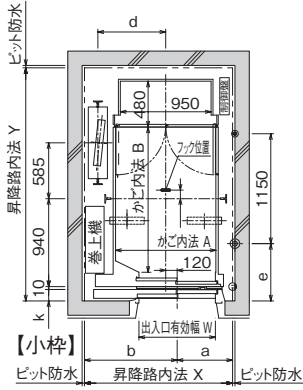
(単位:kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部機器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S- 45	21	41	18	10	65	59	5.8	4.0	6.6	3.8
R-9-2S- 60					81	75				
R-9-2S- 90					88	82				
R-9-2S-105					89	83				

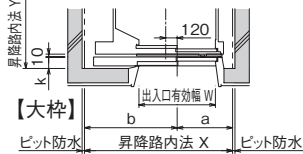
注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA₁₄)

注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

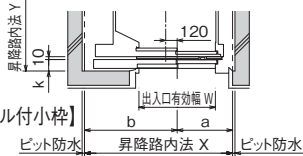
■昇降路がRC造の場合の寸法例(R-9:トランク付)



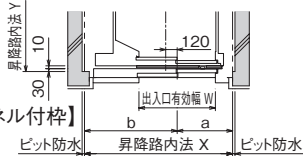
【小枠】



【大枠】

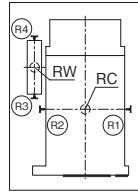


【ストライクパネル付小枠】



【フロントパネル付枠】

昇降路平面図

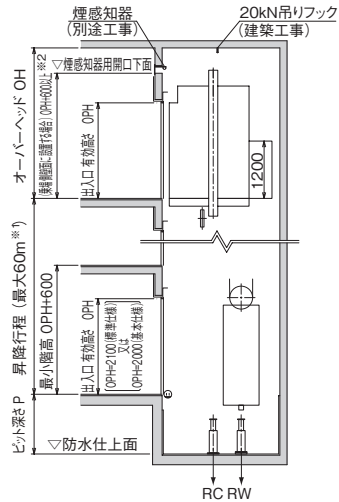


ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

	P x	P y
	かご	PC1 PC2
	おもり	PW1 PW2

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3000mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3000mm	(電気工事)
ⓐ	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)



昇降路断面図

- ※1. 昇降行程が60mを超える場合は、当社にご相談ください。
- ※2. 幕板付の場合を除きます。幕板付きまたは乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッドOH		
			フロント パネル付枠	左記以外	昇降行程		
					30m 以下	45m 以下	60m 以下
RT-9-2S- 45	1050×1520	800	1550×2350	1550×2450	3000	3050	3150
RT-9-2S- 60					3350	3400	3500
RT-9-2S- 90			1600×2400	1600×2500	3450	3500	3600
RT-9-2S-105					3450	3500	3600

(単位:mm)

型式	ピット深さP		a	b	d	k		e	
	標準	最大				※1	※2	フロント パネル付枠	左記以外
RT-9-2S- 45	1250	1550	580	970	710	130	120	500	600
RT-9-2S- 60									
RT-9-2S- 90			605	995	715				
RT-9-2S-105									

注1) 昇降路内法はJIS A4301-1983によります。

注2) 昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注3) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注4) ピット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注5) ピット下部は原則として使用できません。

注6) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスAA₁₄が基本仕様です。

耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注7) k寸法は下記条件で異なります。

※1: 「遮煙エレベータ乗場ドア適用」+「フロントパネル付枠以外」でかつ

押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

(注) フロントパネル付枠の場合、戸袋側への押ボタン・インジケータ・インターホンボックスの取付不可

※2: 上記以外

注8) e寸法は⑦項の※1の条件の場合、+10となります。

注9) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注10) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注11) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注12) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注13) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

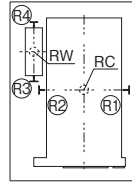
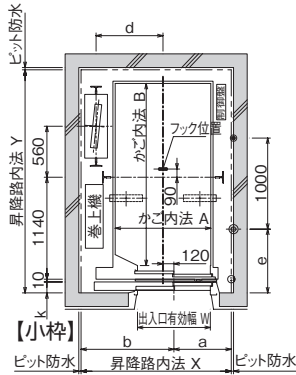
(単位:kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
RT-9-2S- 45	23	42	19	12	66	60	6.2	4.6	7.0	4.0
RT-9-2S- 60					87	81				
RT-9-2S- 90					94	89				
RT-9-2S-105					96	90				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA₁₄)

注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

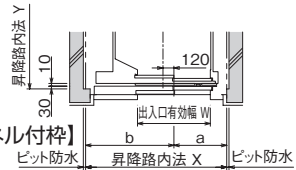
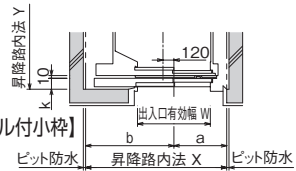
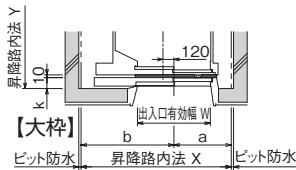
■昇降路がRC造の場合の寸法例(R-13:一方向出入口)



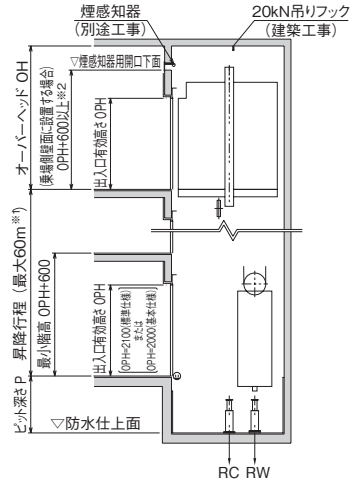
P y	P x	P y
かご	おもり	おもり
PC1	PW1	PW2

ビット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3000mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3000mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)



昇降路平面図



昇降路断面図

- ※1.昇降行程が60mを超える場合は、お問い合わせください。
- ※2.幕板付の場合を除きます。幕板付きまたは乗場側以外の壁面に設置する場合は、お問い合わせください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッドOH		
			フロント パネル付枠	左記以外	昇降行程		
					30m以下	45m以下	60m以下
R-13-2S- 45	1050×2000	800	1650×2350	1650×2450	3000	3050	3150
R-13-2S- 60					3350	3400	3500
R-13-2S- 90					3450	3500	3600
R-13-2S-105							

(単位:mm)

型式	ビット深さP		a	b	d	k		e	
	標準	最大				※1	※2	フロント パネル付枠	左記以外
R-13-2S- 45	1250	1550	605	1045	735	130	120	600	700
R-13-2S- 60									
R-13-2S- 90									
R-13-2S-105									

注1) 昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注2) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注3) ビット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注4) ビット下部は原則として使用できません。

注5) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA₁₄が基本仕様です。

耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注6) k寸法は下記条件で異なります。

※1: 「遮煙エレベータ乗場ドア適用」+「フロントパネル付枠以外」でかつ

押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

(注) フロントパネル付枠の場合、戸袋側への押ボタン・インジケータ・インターホンボックスの取付不可

※2: 上記以外

注7) e寸法は注6) 項の※1の条件の場合、+10となります。

注8) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注9) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注10) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

注11) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注12) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

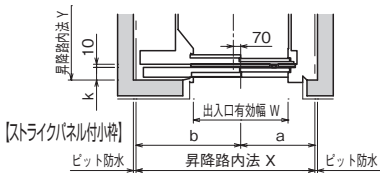
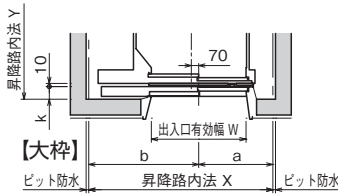
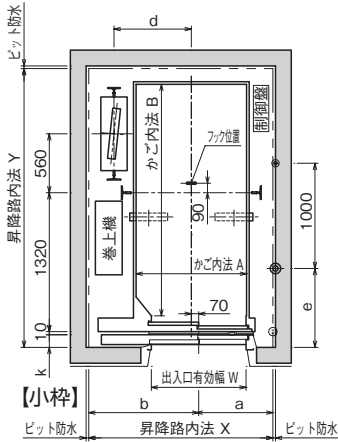
(単位:kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S- 45	27	48	22	14	86	75	7.0	5.0	8.2	4.8
R-13-2S- 60					109	97				
R-13-2S- 90					115	104				
R-13-2S-105					117	105				

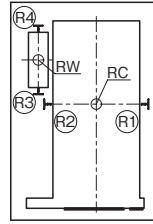
注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA₁₄)

注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-15)



昇降路平面図

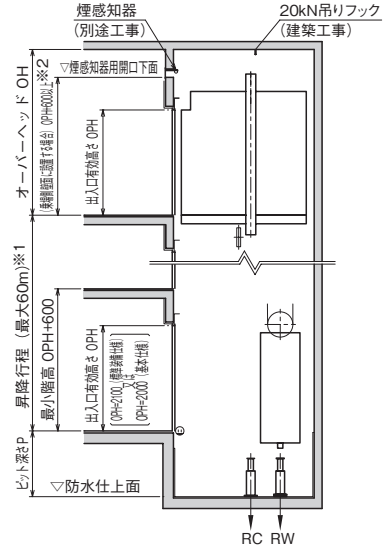


レールに作用する荷重値

P y	P x	P y
P x	かご	PC1 PC2
	おもり	PW1 PW2

ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
○	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200→+200 引出し電線長さ4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200→0 引出し電線長さ3000mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3000mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200→+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200→+200	(電気工事)



昇降路断面図

- ※1. 昇降行程が60mを超える場合は、当社にご相談ください。
- ※2. 幕板付の場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH		
				昇降行程		
				30m以下	45m以下	60m以下
R-15-2S- 45	1050×2200	900	1750×2650	3000	3050	3150
R-15-2S- 60				3350	3400	3500
R-15-2S- 90				3450	3500	3600
R-15-2S-105						

(単位:mm)

型式	ビット深さP		a	b	d	k		e
	標準	最大				※1	※2	
	R-15-2S- 45	1250				1550	705	
R-15-2S- 60								
R-15-2S- 90								
R-15-2S-105								

注1)昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。

また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注2)昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注3)ビット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注4)ビット下部は原則として使用できません。

注5)昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA1.4が基本仕様です。

耐震クラスS1.4をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注6)k寸法は下記条件で異なります。

※1:遮煙エレベータ乗場ドア適用でかつ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

※2:上記以外

注7)e寸法は注6)項の※1の条件の場合、+10となります。

注8)電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注9)昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注10)かこの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注11)昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注12)昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

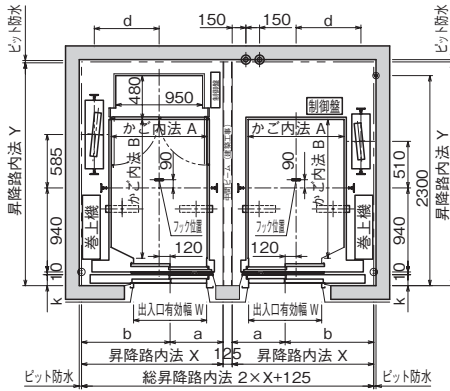
(単位:kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S- 45	29	51	23	15	94	82	7.4	5.2	8.8	5.5
R-15-2S- 60					118	105				
R-15-2S- 90					125	112				
R-15-2S-105					126	113				

注1)設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA1.4)

注2)オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■2台並列設置の場合の寸法例（昇降路がRC造の場合）



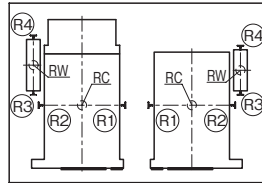
【小枠】

昇降路平面図

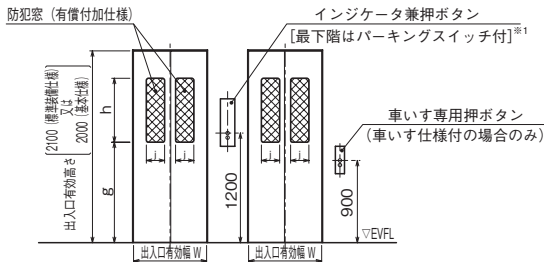
	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ6000mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+6000mm	(電気工事)
Ⓒ	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)

レールに作用する荷重値

P y		P x	P y
	かご	PC1	PC2
P x	おり	PW1	PW2



ビット荷重分布図



出入口正面図

注:防犯窓付の場合を示します

防犯窓	g	h	j
標準サイズ	1100	700	200
大型サイズ	500	1300	250

※1.パーキングスイッチは標準装備仕様です。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH		
				昇降行程		
				30m以下	45m以下	60m以下
R-9-2S- 45	1050×1520	800	1550×2450	3000	3050	3150
R-9-2S- 60				3350	3400	3500
R-9-2S- 90			1600×2500	3450	3500	3600
R-9-2S-105				3450	3500	3600
RT-9-2S- 45	1050×1520	800	1550×2450	3000	3050	3150
RT-9-2S- 60				3350	3400	3500
RT-9-2S- 90			1600×2500	3450	3500	3600
RT-9-2S-105				3450	3500	3600

(単位:mm)

型式	ピット深さP		a	b	d	k	
	標準	最大				※1	※2
R-9-2S- 45	1250	1550	580	970	710	130	120
R-9-2S- 60							
R-9-2S- 90			605	995	715		
R-9-2S-105							
RT-9-2S- 45	1250	1550	580	970	710	130	120
RT-9-2S- 60							
RT-9-2S- 90			605	995	715		
RT-9-2S-105							

注1) 本図はR-9-2SとRT-9-2Sの並列設置の昇降路寸法を示します。

注2) 本図はフロントパネル付枠以外の枠の昇降路寸法を示します。フロントパネル付枠の場合、昇降路奥行内法寸法が100mm小さくなります。

注3) R-6-2SとRT-9-2Sの並列設置の場合は、R-6-2Sおよび背面側に中間ビーム(建設工事)が必要となります。

注4) 昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。

また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注5) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注6) ピット深さが最大寸法を超える場合は、埋戻してください。(建築工事)

注7) ピット下部は原則として使用できません。

注8) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA₁₄が基本仕様です。

耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注9) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

注10) k寸法は下記条件で異なります。

※1: 「遮煙エレベータ乗場ドア適用」+「フロントパネル付枠以外」でかつ

押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

(注) フロントパネル付枠の場合、戸袋側への押ボタン・インジケータ・インターホンボックスの取付不可

※2: 上記以外

注11) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注12) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注13) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

注14) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震リット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

荷重表

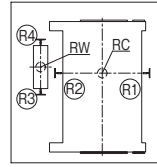
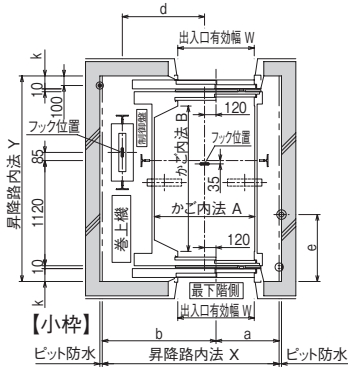
(単位:kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S- 45	21	41	18	10	65	59	5.8	4.0	6.6	3.8
R-9-2S- 60					81	75				
R-9-2S- 90					88	82				
R-9-2S-105					89	83				
RT-9-2S- 45	23	42	19	12	66	60	6.2	4.6	7.0	4.0
RT-9-2S- 60					87	81				
RT-9-2S- 90					94	89				
RT-9-2S-105					96	90				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA₁₄)

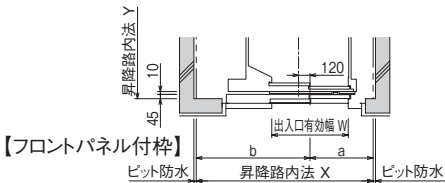
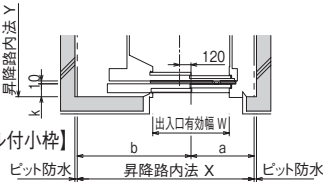
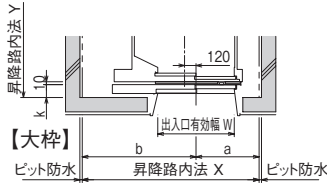
注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例(R-9:二方向出入口)

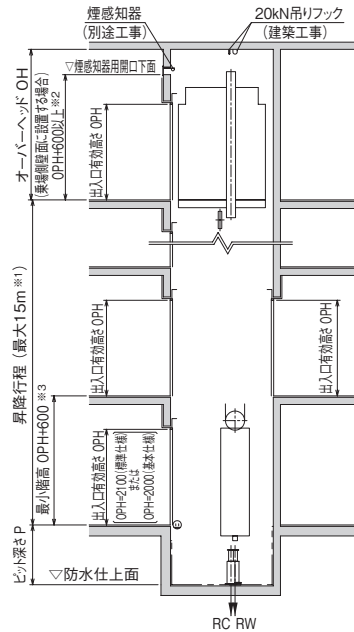


ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3500mm	電源引き込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3500mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)



昇降路平面図



昇降路断面図

※1.15mを超える場合は当社にご相談ください。

※2.幕板付の場合を除きます。幕板付きまたは乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

※3.直上階に同一方向乗場戸が無く、且つ本寸法を満たさない場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH
			フロント パネル付枠	左記以外	昇降行程
					15m以下
R-9-2S- 45	1050×1520	800	1800×1970	1800×2120	3000
R-9-2S- 60					3350
R-9-2S- 90					3450
R-9-2S-105					

(単位:mm)

型式	ビット深さP		a	b	d	k		e	
	標準	最大				※1	※2	フロント パネル付枠	左記以外
R-9-2S- 60									
R-9-2S- 90									
R-9-2S-105									

- 注1) 昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
- 注2) 最下階の乗場戸と同一方向の乗場戸が上階に1ヶ所もない場合、ビット深さは標準:1700mm、最大:1850mmとなります。
- 注3) ビットを深くできない場合は、当社にご相談ください。
- 注4) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
- 注5) ビット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)
- 注6) ビット下部は原則として使用できません。
- 注7) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。
耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
- 注8) k寸法は下記条件で異なります。
※1: 「遮煙エレベータ乗場ドア適用」+「フロントパネル付枠以外」でかつ
押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合
(注) フロントパネル付枠の場合、戸袋側への押ボタン・インジケータ・インターホンボックスの取付不可
※2: 上記以外
- 注9) e寸法は注7) 項の※1の条件の場合、+10となります。
- 注10) 上表のフロントパネル付枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。
・正面扉、背面扉共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20
・正面扉、背面扉のいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10
・上記以外: Y±0
- 注11) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
- 注12) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
- 注13) 上記の仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
- 注14) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。
- 注15) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

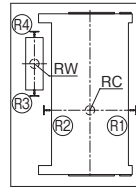
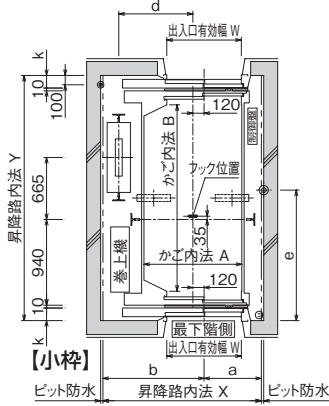
(単位:kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-9-2S- 45	21	26	30	5	68	62	5.9	4.5	6.7	5.6
R-9-2S- 60					84	78				
R-9-2S- 90					90	84				
R-9-2S-105					92	87				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

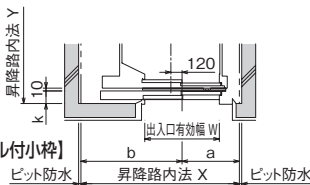
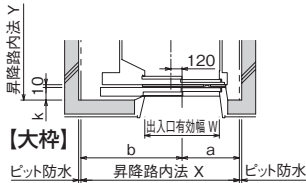
注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例(R-13:二方向出入口)

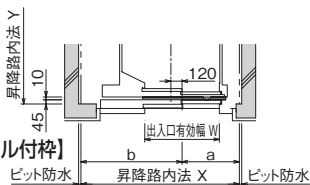


ビット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ8000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+8000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3500mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3500mm	(電気工事)
ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)

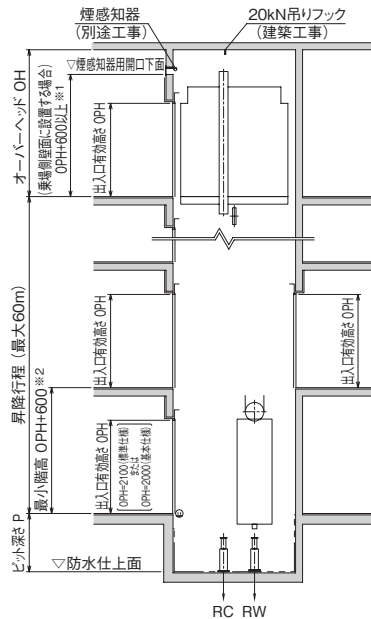


【ストライクパネル付小枠】



【フロントパネル付枠】

昇降路平面図



昇降路断面図

- ※1. 幕板付の場合を除きます。幕板付きたまたは乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
- ※2. 直上階に同一方向乗場戸が無く、且つ本寸法を満たさない場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y		オーバーヘッドOH		
			フロント パネル付枠	左記以外	昇降行程		
					30m以下	45m以下	60m以下
R-13-2S- 45	1050×2000	800	1700×2450	1700×2600 (2630)	3000	3050	3150
R-13-2S- 60					3350	3400	3500
R-13-2S- 90					3450	3500	3600
R-13-2S-105							

(単位:mm)

型式	ピット深さP		a	b	d	k		e	
	標準	最大				※1	※2	フロント パネル付枠	左記以外
R-13-2S- 45	1250	1550	605	1095	795	130	120	1300	1385 (1400)
R-13-2S- 60						(145)	(135)		
R-13-2S- 90									
R-13-2S-105									

注1) ()内寸法は、昇降行程が30m超えの場合を示します。

注2)昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注3)最下階の乗場戸と同一方向の乗場戸が上階に1ヶ所もない場合、ピット深さは標準：1700mm、最大：1850mmとなります。ピットを深くできない場合は、当社にご相談ください。

注4)昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注5)ピット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注6)ピット下部は原則として使用できません。

注7)昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA_{1.4}が基本仕様です。

耐震クラスS_{1.4}をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注8)k寸法は下記条件で異なります。

※1:「遮煙エレベータ乗場ドア適用」+「フロントパネル付枠以外」でかつ

押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

(注)フロントパネル付枠の場合、戸袋側への押ボタン・インジケータ・インターホンボックスの取付不可

※2:上記以外

注9)e寸法は注8)項の※1の条件の場合、+10となります。

注10)上表のフロントパネル付枠以外の枠の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。

・正面扉、背面扉共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合:Y+20

・正面扉、背面扉のいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合:Y+10

・上記以外:Y±0

注11)電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注12)昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注13)かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注14)昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注15)昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

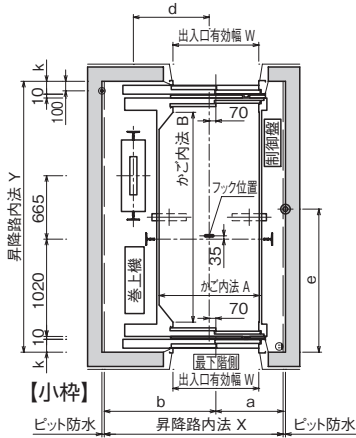
(単位:kN)

型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-13-2S- 45	27	1	62	20	86	75	7.0	5.1	8.0	5.1
R-13-2S- 60					107	95				
R-13-2S- 90					113	102				
R-13-2S-105					114	103				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

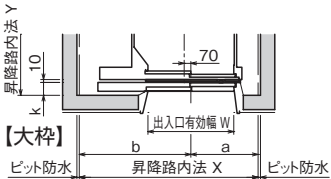
注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例 (R-15)



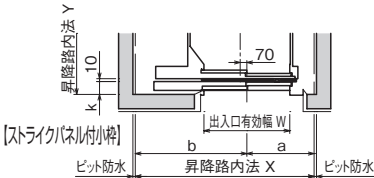
【小枠】

ビット防水 昇降路内法 X ビット防水



【大枠】

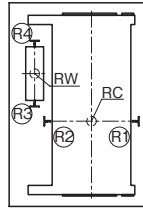
ビット防水 昇降路内法 X ビット防水



【ストライク(パネル付小枠)】

ビット防水 昇降路内法 X ビット防水

昇降路平面図

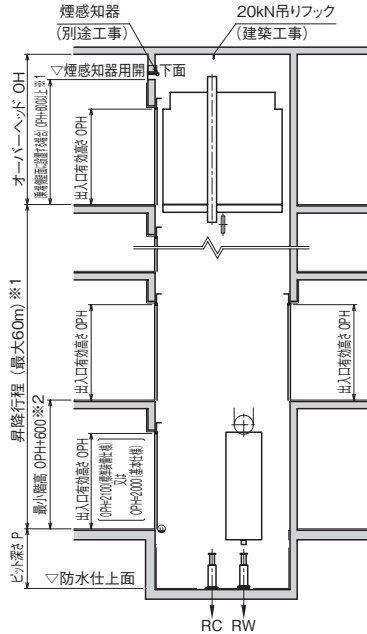


ビット荷重分布図

レールに作用する荷重値

P y	P x	P y
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長≦8000mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長≦H+8000mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長≦3500mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長≦H+3500mm	(電気工事)
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)



昇降路断面図

- ※1. 幕板付の場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
- ※2. 直上階に同一方向乗場戸が無く、且つ本寸法を満たさない場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH		
				昇降行程		
				30m以下	45m以下	60m以下
R-15-2S- 45	1050×2200	900	1875×2800 (2830)	3000	3050	3150
R-15-2S- 60				3350	3400	3500
R-15-2S- 90				3450	3500	3600
R-15-2S-105						

(単位:mm)

型式	ピット深さP		a	b	d	k		e
	標準	最大				※1	※2	
	R-15-2S- 45							
R-15-2S- 60	1250	1550	705	1170	795	130 (145)	120 (135)	1485 (1500)
R-15-2S- 90								
R-15-2S-105								

注1) ()内寸法は、昇降行程が30mを超える場合を示します。

注2) 昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注3) 最下階の乗場戸と同一方向の乗場戸が上階に1ヶ所もない場合、ピット深さは標準:1700mm、最大:1850mmとなります。

ピットを深くできない場合は、当社にご相談ください。

注4) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注5) ピット深さが最大寸法を超える場合は、埋戻してください。(建築工事)

注6) ピット下部は原則として使用できません。

注7) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA₁₄が基本仕様です。

耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注8) k寸法は下記条件で異なります。

※1: 遮煙エレベータ乗場ドア適用でかつ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

※2: 上記以外

注9) e寸法は注8)の※1の条件の場合、+10となります。

注10) 上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。

・正面扉、背面扉共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20

・正面扉、背面扉のいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10

・上記以外: Y±0

注11) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注12) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注13) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要となります。

注14) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注15) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

(単位:kN)

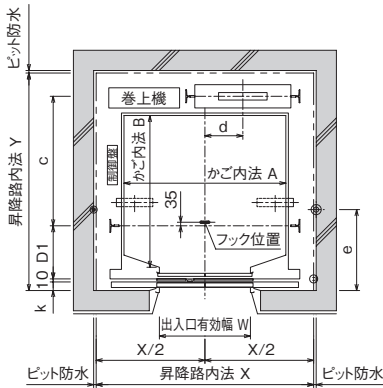
型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
R-15-2S- 45	29	1	66	21	93	81	7.5	5.1	8.6	5.4
R-15-2S- 60					116	103				
R-15-2S- 90					123	110				
R-15-2S-105					124	111				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

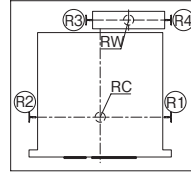
注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2.3 エクシオール 標準型 P(乗用)

■昇降路がRC造の場合の寸法例(一方向出入口)



昇降路平面図

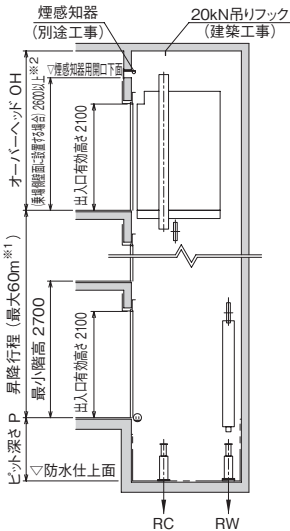


ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3500mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3500mm	(電気工事)
ⓔ	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)

レールに作用する荷重値

P y	P x	P y
↓	かご	PC1 PC2
↑	おもり	PW1 PW2



昇降路断面図

※1.11~15人乗りで昇降行程が60mを超える場合は、お問い合わせください。

※2.幕板付の場合を除きます。幕板付きまたは乗場側以外の壁面に設置する場合は、お問い合わせください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH		
				昇降行程		
				30m以下	45m以下	60m以下
P-6-CO- 45	1400×850	800	1800×1500	3000	3050	3150
P-6-CO- 60				3350	3400	3500
P-6-CO- 90			1850×1550	3450	3500	3600
P-6-CO-105				3450	3500	3600
P-9-CO- 45	1400×1100	800	1800×1750	3000	3050	3150
P-9-CO- 60				3350	3400	3500
P-9-CO- 90			1850×1800	3450	3500	3600
P-9-CO-105				3450	3500	3600
P-11-CO- 45	1400×1350	800	1800×2000	3000	3050	3150
P-11-CO- 60				3350	3400	3500
P-11-CO- 90			1850×2050	3450	3500	3600
P-11-CO-105				3450	3500	3600
P-13-CO- 45	1600×1350	900	2150×2150	3000	3050	3150
P-13-CO- 60				3350	3400	3500
P-13-CO- 90				3450	3500	3600
P-13-CO-105				3450	3500	3600
P-15-CO- 45	1600×1500	900	2150×2300	3000	3050	3150
P-15-CO- 60				3350	3400	3500
P-15-CO- 90				3450	3500	3600
P-15-CO-105				3450	3500	3600

(単位:mm)

型式	ピット深さP		k		D1	c	d	e	
	標準	最大	※1	※2				※1	※2
P-6-CO- 45	1250	1550	90	85	385	780	300	755	750
P-6-CO- 60									
P-6-CO- 90									
P-6-CO-105									
P-9-CO- 45	1250	1550	90	85	420	990	375	805	800
P-9-CO- 60									
P-9-CO- 90									
P-9-CO-105									
P-11-CO- 45	1250	1550	90	85	495	1180	375	905	900
P-11-CO- 60									
P-11-CO- 90									
P-11-CO-105									
P-13-CO- 45	1250	1550	90	85	495	1180	375	905	900
P-13-CO- 60									
P-13-CO- 90									
P-13-CO-105									
P-15-CO- 45	1250	1550	90	85	545	1280	375	955	950
P-15-CO- 60									
P-15-CO- 90									
P-15-CO-105									

- 注1)昇降路内法はJIS A4301-1983によります。
 注2)昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。
 また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
 注3)昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
 注4)ピット深さが最大寸法を超える場合は、埋戻してください。(建築工事)
 注5)ピット下部は原則として使用できません。
 注6)昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA₁₄が基本仕様です。
 耐震クラスS₁₄をご用命の場合は、当社にご相談ください。
 注7)k、e寸法は下記条件で異なります。
 ※1:遮煙エレベータ乗場ドア適用で、乗場壁にインターホンボックス設置の場合
 ※2:上記以外
 注8)電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
 注9)昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。
 また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
 注10)かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
 注11)昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。
 注12)昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

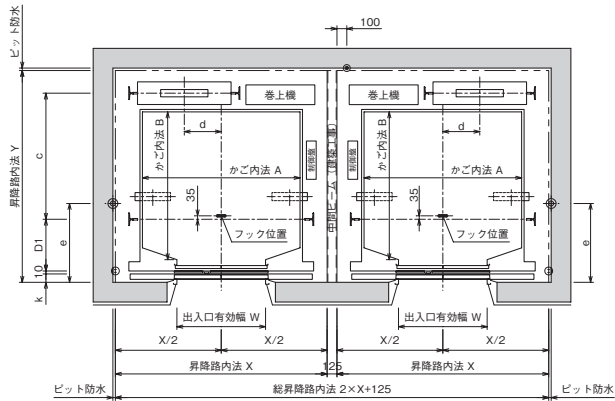
荷重表

(単位:kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-6-CO- 45	13	15	43	9	52	48	4.7	3.9	6.8	3.4
P-6-CO- 60					65	60				
P-6-CO- 90					69	65				
P-6-CO-105					75	71				
P-9-CO- 45	16	17	43	13	64	57	5.2	3.9	7.4	3.7
P-9-CO- 60					79	72				
P-9-CO- 90					84	78				
P-9-CO-105					87	81				
P-11-CO- 45	19	21	44	14	72	64	5.5	4.1	8.1	4.1
P-11-CO- 60					90	80				
P-11-CO- 90					96	86				
P-11-CO-105					97	88				
P-13-CO- 45	21	23	44	18	81	70	5.8	4.4	8.7	4.4
P-13-CO- 60					100	88				
P-13-CO- 90					107	94				
P-13-CO-105					108	96				
P-15-CO- 45	22	24	45	18	86	73	6.0	4.4	9.0	4.6
P-15-CO- 60					106	92				
P-15-CO- 90					113	99				
P-15-CO-105					115	100				

- 注1)設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA₁₄)
 注2)オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

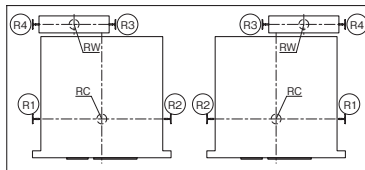
■2台並列設置の場合の寸法例（昇降路がRC造の場合）



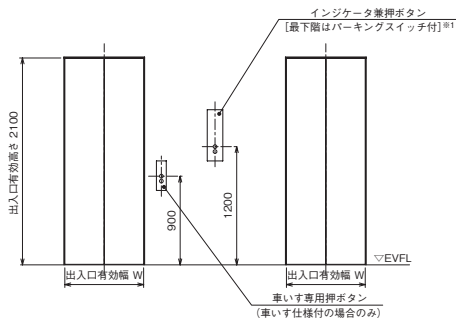
【小枠】
昇降路平面図

●	電源等を床面付近から引き込む場合 NTTモジュラージャック 引出し電線長さ：5500mm	電源等を天井裏から引き込む場合 NTTモジュラージャック 引出し電線長さ：H+5500mm	別途工事
◎	電源引き込み位置 引出し高さ：最下層FL-200~0 引出し電線長さ：3500mm	電源引き込み位置 引出し高さ：最下層FL+H 引出し電線長さ：H+3500mm	電気工事
⊕	点検用コンセント100V 引出し高さ：最下層FL-200~200	点検用コンセント100V 引出し高さ：最下層FL-200~200	電気工事

レールに作用する荷重値			
P y	P x	P y	P x
↓	↓	かご	PC1
		おもり	PW1
			PW2



ビット荷重分布図



出入口正面図

※1. パーキングスイッチは標準装備仕様です。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH		
				昇降行程		
				30m以下	45m以下	60m以下
P-6-CO- 45	1400×850	800	1800×1500	3000	3050	3150
P-6-CO- 60				3350	3400	3500
P-6-CO- 90			1850×1550	3450	3500	3600
P-6-CO-105						
P-9-CO- 45	1400×1100	800	1800×1750	3000	3050	3150
P-9-CO- 60				3350	3400	3500
P-9-CO- 90			1850×1800	3450	3500	3600
P-9-CO-105						
P-11-CO- 45	1400×1350	800	1800×2000	3000	3050	3150
P-11-CO- 60				3350	3400	3500
P-11-CO- 90			1850×2050	3450	3500	3600
P-11-CO-105						
P-13-CO- 45	1600×1350	900	2150×2150	3000	3050	3150
P-13-CO- 60				3350	3400	3500
P-13-CO- 90				3450	3500	3600
P-13-CO-105						
P-15-CO- 45	1600×1500	900	2150×2300	3000	3050	3150
P-15-CO- 60				3350	3400	3500
P-15-CO- 90				3450	3500	3600
P-15-CO-105						

(単位:mm)

型式	ピット深さP		k		D1	c	d	e	
	標準	最大	※1	※2				※1	※2
P-6-CO- 45	1250	1550	90	85	385	780	300	755	750
P-6-CO- 60									
P-6-CO- 90									
P-6-CO-105									
P-9-CO- 45	1250	1550	90	85	420	990	375	805	800
P-9-CO- 60									
P-9-CO- 90									
P-9-CO-105									
P-11-CO- 45	1250	1550	90	85	495	1180	375	905	900
P-11-CO- 60									
P-11-CO- 90									
P-11-CO-105									
P-13-CO- 45	1250	1550	90	85	495	1180	375	905	900
P-13-CO- 60									
P-13-CO- 90									
P-13-CO-105									
P-15-CO- 45	1250	1550	90	85	545	1280	375	955	950
P-15-CO- 60									
P-15-CO- 90									
P-15-CO-105									

注1)昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。

また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注2)昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注3)ピット深さが最大寸法を超える場合は、埋戻してください。(建築工事)

注4)ピット下部は原則として使用できません。

注5)昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注6)昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

注7)電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注8)k、e寸法は下記条件で異なります。

※1:遮煙エレベータ乗場ドア適用で、乗場壁にインターホンボックス設置の場合

※2:上記以外

注9)昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。

また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注10)かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注11)昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

荷重表

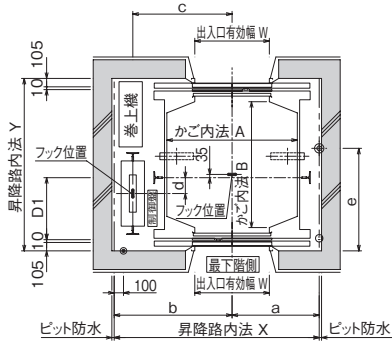
(単位:kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-6-CO-45	13	15	43	9	52	48	4.7	3.9	6.8	3.4
P-6-CO-60					65	60				
P-6-CO-90					69	65				
P-6-CO-105					75	71				
P-9-CO-45	16	17	43	13	64	57	5.2	3.9	7.4	3.7
P-9-CO-60					79	72				
P-9-CO-90					84	78				
P-9-CO-105					87	81				
P-11-CO-45	19	21	44	14	72	64	5.5	4.1	8.1	4.1
P-11-CO-60					90	80				
P-11-CO-90					96	86				
P-11-CO-105					97	88				
P-13-CO-45	21	23	44	18	81	70	5.8	4.4	8.7	4.4
P-13-CO-60					100	88				
P-13-CO-90					107	94				
P-13-CO-105					108	96				
P-15-CO-45	22	24	45	18	86	73	6.0	4.4	9.0	4.6
P-15-CO-60					106	92				
P-15-CO-90					113	99				
P-15-CO-105					115	100				

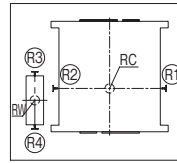
注1)設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

注2)オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例(二方向出入口)

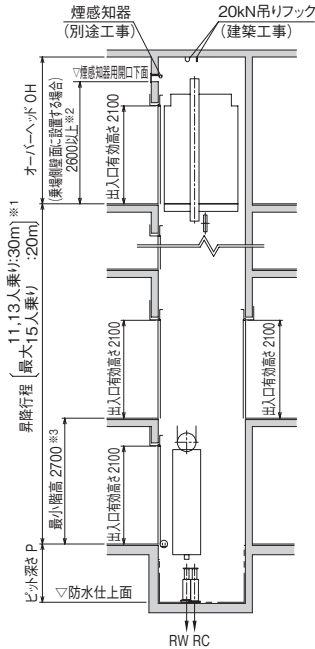


昇降路平面図



ピット荷重分布図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ5500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+5500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3500mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3500mm	(電気工事)
⊙	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)



昇降路断面図

- ※1.昇降行程が最大を超える場合は、当社にご相談ください。
- ※2.幕板付の場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
- ※3.直上階に同一方向乗場戸が無く、且つ本寸法を満たさない場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH		ピット深さP	
				昇降行程		標準	最大
				20m以下	30m以下		
P-11-CO- 45	1400×1350	800	2200×1850	—	3000	1250	1550
P-11-CO- 60				—	3350		
P-11-CO- 90				—	3450		
P-11-CO-105				—	3450		
P-13-CO- 45	1600×1350	900	2450×1850	—	3000	1250	1550
P-13-CO- 60				—	3350		
P-13-CO- 90				—	3450		
P-13-CO-105				—	3450		
P-15-CO- 45	1600×1500	900	2450×2000	3000	—	1250	1550
P-15-CO- 60				3350	—		
P-15-CO- 90				3450	—		
P-15-CO-105				3450	—		

(単位:mm)

型式	D1	a	b	c	d	e
P-11-CO- 45	670	925	1275	1065	170	1100
P-11-CO- 60						
P-11-CO- 90						
P-11-CO-105						
P-13-CO- 45	670	1050	1400	1165	170	1100
P-13-CO- 60						
P-13-CO- 90						
P-13-CO-105						
P-15-CO- 45	720	1050	1400	1165	195	1150
P-15-CO- 60						
P-15-CO- 90						
P-15-CO-105						

注1)昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。

また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注2)最下階の乗場戸と同一方向の乗場戸が上階に1ヶ所もない場合、ピット深さは標準:1600mm、最大:1850mmとなります。ピットを深くできない場合は、当社にご相談ください。

注3)昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注4)ピット深さが最大寸法を超える場合は、埋戻してください。(建築工事)

注5)ピット下部は原則として使用できません。

注6)昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注7)電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注8)昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注9)かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や特に高さのある機器をかご上に設置する場合は更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注10)昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注11)昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

(単位:kN)

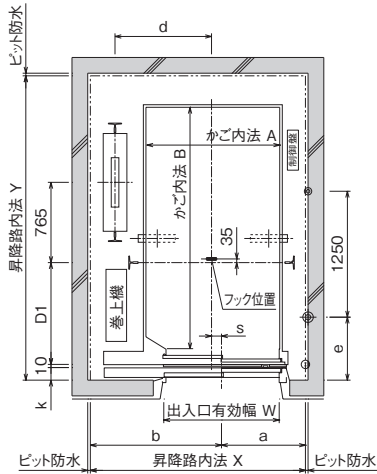
型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-11-CO- 45	24	31	35	8	78	70	6.8	5.1	7.8	6.2
P-11-CO- 60					97	88				
P-11-CO- 90					103	94				
P-11-CO-105					109	101				
P-13-CO- 45	27	34	36	8	87	76	7.2	5.2	8.3	6.8
P-13-CO- 60					107	96				
P-13-CO- 90					114	103				
P-13-CO-105					120	109				
P-15-CO- 45	28	35	36	10	92	80	7.4	5.4	8.7	7.0
P-15-CO- 60					114	100				
P-15-CO- 90					121	107				
P-15-CO-105					127	114				

注1)設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

注2)オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

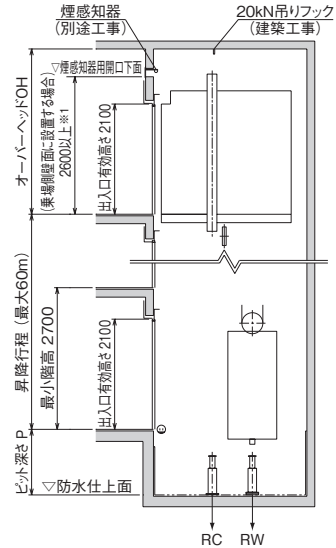
2.4 エクシオール 標準型 B(寝台用)

■昇降路がRC造の場合の寸法例(一方向出入口)



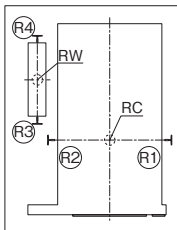
昇降路平面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
◎	NTTモジュラージャック 引き込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ4500mm	NTTモジュラージャック 引き込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+4500mm	(別途工事)
⊕	電源引き込み位置 引き込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3000mm	電源引き込み位置 引き込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3000mm	(電気工事)
Ⓔ	点検用コンセント100V 引き込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引き込み高さ最下階FL-200~+200	(電気工事)



昇降路断面図

※1.乗場側以外の壁面に設置する場合は、お問い合わせください。



ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値		
P_y	P_x	P_y
P_x	かご	PC1 PC2
	おもり	PW1 PW2

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH			ピット深さP	
				昇降行程			標準	最大
				30m以下	45m以下	60m以下		
B-11-2S- 45	1300×2300	1100	2050×2900	3000	3050	3150	1250	1550
B-11-2S- 60				3350	3400	3500		
B-11-2S- 90				3450	3500	3600		
B-11-2S-105								
B-15-2S- 45	1500×2500	1200	2300×3100	3000	3050	3150	1250	1550
B-15-2S- 60				3350	3400	3500		
B-15-2S- 90				3450	3500	3600		
B-15-2S-105								

(単位:mm)

型式	D1	a	b	d	k		e		s
					※1	※2	※1	※2	
B-11-2S- 45	990	800	1250	920	130	120	560	550	95
B-11-2S- 60									
B-11-2S- 90									
B-11-2S-105									
B-15-2S- 45	1090	890	1410	1020	130	120	660	650	145
B-15-2S- 60									
B-15-2S- 90									
B-15-2S-105									

注1) 昇降路内法はJIS A4301-1983によります。

注2) 昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注3) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注4) ピット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注5) ピット下部は原則として使用できません。

注6) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注7) k、e寸法は下記条件で異なります。

※1: 遮煙エレベータ乗場ドア適用でかつ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

※2: 上記以外

注8) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注9) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注10) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注11) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注12) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

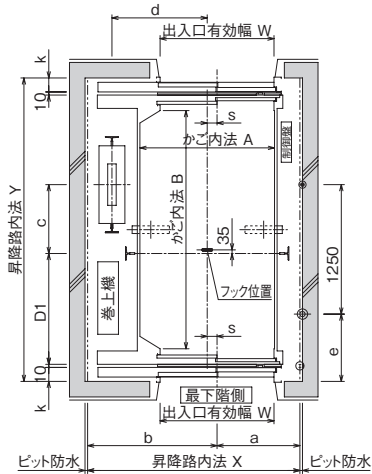
(単位:kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S- 45	27	2	60	20	85	77	7.3	4.8	8.1	4.5
B-11-2S- 60					105	97				
B-11-2S- 90					111	104				
B-11-2S-105					112	105				
B-15-2S- 45	30	1	67	23	98	87	8.0	5.3	9.1	5.0
B-15-2S- 60					123	110				
B-15-2S- 90					130	118				
B-15-2S-105					131	119				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

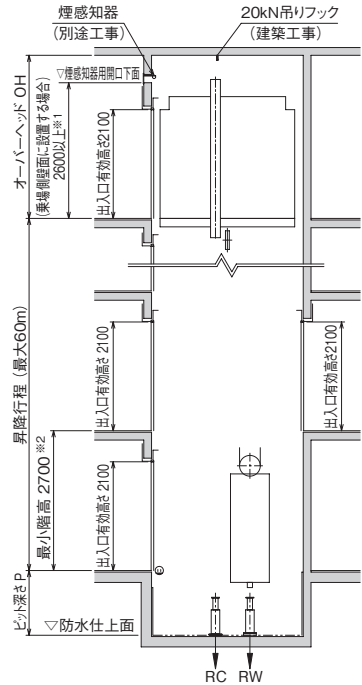
注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例(二方向出入口)

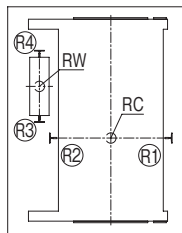


昇降路平面図

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200~+200 引出し電線長さ4500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+4500mm	別途工事
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200~0 引出し電線長さ3500mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+3500mm	電気工事
⊖	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引出し電線長さ最下階FL-200~+200	電気工事



昇降路断面図



ピット荷重分布図

※1.乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。

※2.直上階に同一方向乗場戸が無く、且つ本寸法を満たさない場合は、当社にご相談ください。

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	出入口幅 W	昇降路内法 X×Y	オーバーヘッドOH			ピット深さP	
				昇降行程			標準	最大
				30m以下	45m以下	60m以下		
B-11-2S- 45	1300×2300	1100	2050×2900 (2930)	3000	3050	3150	1250	1550
B-11-2S- 60				3350	3400	3500		
B-11-2S- 90				3450	3500	3600		
B-11-2S-105								
B-15-2S- 45	1500×2500	1200	2300×3100 (3130)	3000	3050	3150	1250	1550
B-15-2S- 60				3350	3400	3500		
B-15-2S- 90				3450	3500	3600		
B-15-2S-105								

(単位:mm)

型式	D1	a	b	c	d	k		e		s
						※1	※2	※1	※2	
B-11-2S- 45	1090	805	1245	665	920	130	120	645	635	95
B-11-2S- 60						(145)	(135)	(660)	(650)	
B-11-2S- 90										
B-11-2S-105										
B-15-2S- 45	1165	855	1445	765	1020	130	120	695	685	145
B-15-2S- 60						(145)	(135)	(710)	(700)	
B-15-2S- 90										
B-15-2S-105										

注1) ()内寸法は、昇降行程が30m超えの場合を示します。

注2) 昇降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注3) 最下階の乗場戸と同一方向の乗場戸が上階に1ヶ所もない場合、ピット深さは標準:1600mm、最大:1850mmとなります。ピットを深くできない場合は、当社にご相談ください。

注4) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注5) ピット深さが最大寸法を超える時は埋戻してください。(建築工事)

注6) ピット下部は原則として使用できません。

注7) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注8) k,e寸法は下記条件で異なります。

※1: 遮煙エレベータ乗場ドア適用でかつ

押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

※2: 上記以外

注9) 上表の昇降路奥行内法Yは遮煙エレベータ乗場ドア適用なしの場合を示します。適用ありの場合は下記寸法になります。

・正面扉、背面扉共遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+20

・正面扉、背面扉のいずれかが遮煙エレベータ乗場ドア適用且つ押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合: Y+10

・上記以外: Y±0

注10) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注11) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。

注12) かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や、特に高さのある機器をかご上に設置する場合は、更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注13) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。

注14) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

(単位:kN)

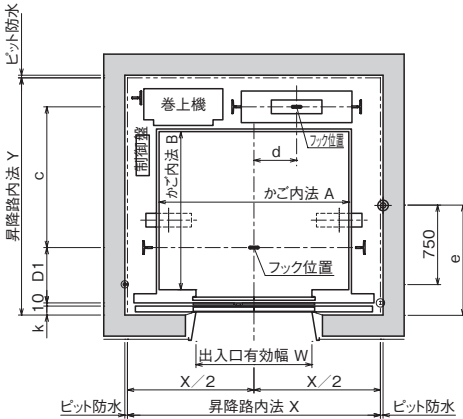
型式	ビット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)				ビット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	RC(かご側)	RW(おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
B-11-2S- 45	27	3	63	21	89	82	7.7	5.3	8.6	5.4
B-11-2S- 60					110	103				
B-11-2S- 90					117	110				
B-11-2S-105					118	111				
B-15-2S- 45	31	2	68	24	104	92	8.4	5.8	9.5	6.1
B-15-2S- 60					129	117				
B-15-2S- 90					136	125				
B-15-2S-105					138	126				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA₁₄)

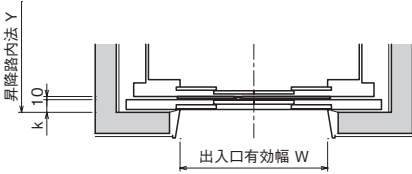
注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2.5 エクシオール大容量標準型

■昇降路がRC造の場合の寸法例（乗用 おもり後落ち）

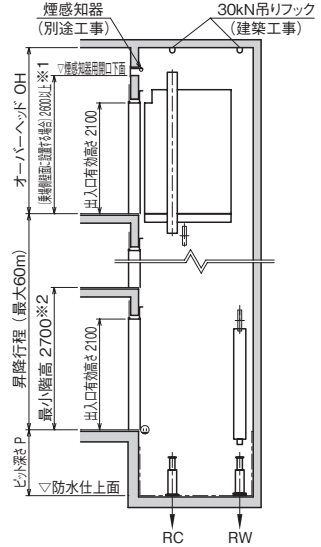


昇降路平面図



出入口平面図

(扉形式:4枚両引きの場合)



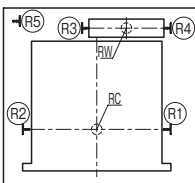
昇降路断面図

※1.下記条件の場合は寸法が変更となりますので、当社にご相談ください。

1. 幕板付きの場合
2. 扉形式4枚両引き+遮煙エレベータ乗場ドアありの場合
3. 乗場側以外の壁面に設置の場合

※2.扉形式4枚両引き+遮煙エレベータ乗場ドアありの場合は、最小階高=2825となります。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さを最下階FL-200~+200 引出し電線長さを7500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さを最下階FL+H 引出し電線長さをH+7500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さを最下階FL-200~0 引出し電線長さを4500mm	電源引込み位置 引込み高さを最下階FL+H 引出し電線長さをH+4500mm	(電気工事)
⓪	点検用コンセント100V 引込み高さを最下階FL-200~+200	点検用コンセント100V 引込み高さを最下階FL-200~+200	(電気工事)



レールに作用する荷重値

P y	P x	P x	P y
かご	おもり	PC1	PC2
		PW1	PW2

ビット荷重分布図

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	扉形式	出入口幅 W	昇降路内 X×Y	オーバーヘッドOH		
					昇降行程		
					30m以下	45m以下	60m以下
P-17S-2CO- 45	1800×1500	2枚両引き	1100	2400×2200	3300	3350	3450
P-17S-2CO- 60					3400	3450	3550
P-17S-2CO- 90					3500	3550	3650
P-17S-2CO-105							
P-20S-2CO- 45	1800×1700	2枚両引き	1100	2400×2400	3300	3350	3450
P-20S-2CO- 60					3400	3450	3550
P-20S-2CO- 90					3500	3550	3650
P-20S-2CO-105							
P-24S-2CO- 45	2000×1750	2枚両引き	1100	2560×2450	3300	3350	3450
P-24S-2CO- 60					3400	3450	3550
P-24S-2CO- 90					3500	3550	3650
P-24S-2CO-105		4枚両引き	1400	2560×2520	3300	3350	3450
P-24S-4CO- 45					3400	3450	3550
P-24S-4CO- 60							
P-24S-4CO- 90	2150×1600	4枚両引き	1400	2710×2370	3300	3350	3450
P-24W-4CO- 45					3400	3450	3550
P-24W-4CO- 60							
P-24W-4CO- 90							
P-30S-4CO- 45	2000×2050	4枚両引き	1400	2560×2850	3300	3350	3450
P-30S-4CO- 60							
P-30W-4CO- 45	2350×1750	4枚両引き	1800	3000×2550	3300	3350	3450
P-30W-4CO- 60							

(単位:mm)

型式	ピット深さP		k		D1	c	d	e							
	標準	最大	※1	※2				※1	※2						
P-17S-2CO- 45	1250	1850	90	85	545	1335	405	1045	1040						
P-17S-2CO- 60															
P-17S-2CO- 90															
P-17S-2CO-105															
P-20S-2CO- 45	1250	1850	90	85	545	1535	405	1045	1040						
P-20S-2CO- 60															
P-20S-2CO- 90															
P-20S-2CO-105															
P-24S-2CO- 45	1250	1850	90	85	570	1560	405	1070	1065						
P-24S-2CO- 60															
P-24S-2CO- 90					1400					1550	140	120	605	1155	1135
P-24S-2CO-105															
P-24S-4CO- 45	1250	1850	140	120	580	1435	330	1130	1110						
P-24S-4CO- 60															
P-24S-4CO- 90															
P-24W-4CO- 45															
P-24W-4CO- 60	1250	1850	140	120	755	1710	405	1305	1285						
P-24W-4CO- 90															
P-30S-4CO- 45	1250	1850	140	120	605	1560	330	1155	1135						
P-30S-4CO- 60															
P-30W-4CO- 45															
P-30W-4CO- 60															

- 注1)昇降路内法はビット防水仕上後の有効寸法です。
 また、ビット部の防水厚さは25mm以下にしてください。
- 注2)昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。
- 注3)ビット深さが最大寸法を超える場合は、埋戻してください。(建築工事)
- 注4)ビット下部は原則として使用できません。
- 注5)昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。
 耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。
- 注6)扉形式が2枚両引きの場合、k,e寸法は下記条件で異なります。
 ※1:遮煙エレベータ乗場ドア適用、乗場壁にインターホンボックス設置の場合
 ※2:上記以外
- 注7)扉形式が4枚両引きの場合、k,e寸法は下記条件で異なります。
 ※1:遮煙エレベータ乗場ドア適用の場合
 ※2:遮煙エレベータ乗場ドア非適用の場合
- 注8)k寸法が※1適用の場合、昇降路内法Yは+5mm(扉形式が4枚両引きの場合は+20mm)となります。
- 注9)電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。
- 注10)昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。
 条件により、必要壁厚が厚くなる場合があります。
 また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
- 注11)かごの仕様により特にかご重量が大きい場合や
 特に高さのある機器をかご上に設置する場合は
 更にオーバーヘッド寸法が必要になります。
- 注12)昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、昇降路内法が大きくなる場合があります。
- 注13)昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

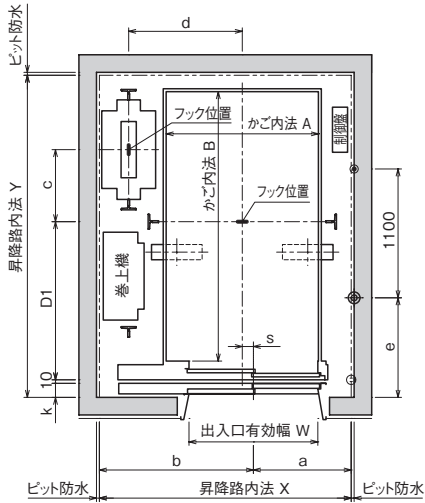
(単位:kN)

型式	ビット部レール下部にかかる 荷重(長期荷重)					ビット部緩衝器にかかる 荷重(短期荷重)		レールに作用する 荷重値(短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-17S-2C0- 45	31	36	44	35	14	121	113	8.8	6.1	12.9	6.5
P-17S-2C0- 60						149	142				
P-17S-2C0- 90						154	147				
P-17S-2C0-105						157	150				
P-20S-2C0- 45	34	39	46	36	14	132	121	9.3	6.5	13.7	6.8
P-20S-2C0- 60						164	153				
P-20S-2C0- 90						169	158				
P-20S-2C0-105						172	162				
P-24S-2C0- 45	38	43	48	40	14	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4
P-24S-2C0- 60						183	168				
P-24S-2C0- 90						189	173				
P-24S-2C0-105						193	177				
P-24S-4C0- 45	38	43	48	40	14	148	133	10.2	7.0	14.7	7.4
P-24S-4C0- 60						183	168				
P-24S-4C0- 90						189	173				
P-24S-4C0- 90						148	133				
P-24W-4C0- 60	37	43	48	40	15	183	168	10.2	7.0	14.7	7.4
P-24W-4C0- 90						189	173				
P-30S-4C0- 45	44	50	52	44	15	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2
P-30S-4C0- 60						214	192				
P-30W-4C0- 45	44	50	52	46	15	173	152	11.4	8.0	16.4	8.2
P-30W-4C0- 60						214	192				

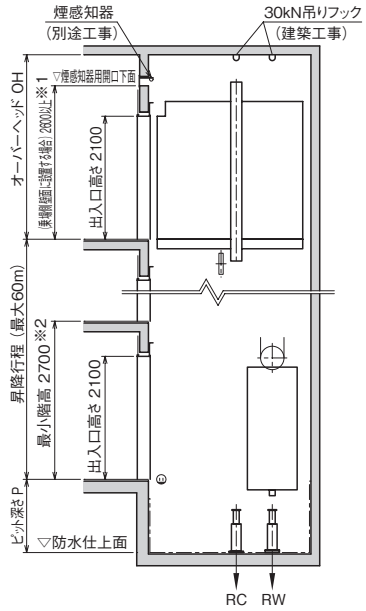
注1)設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

注2)オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

■昇降路がRC造の場合の寸法例（乗用・寝台用 おもり横落ち）



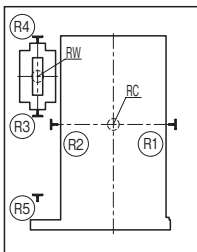
昇降路平面図



昇降路断面図

- ※1. 幕板付の場合を除きます。幕板付き又は乗場側以外の壁面に設置する場合は、当社にご相談ください。
- ※2. かが床強度増の場合は、当社にご相談ください。

	電源等を床面付近から引き込む場合	電源等を天井裏から引き込む場合	
●	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL-200～+200 引出し電線長さ6500mm	NTTモジュラージャック 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+6500mm	(別途工事)
⊕	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL-200～0 引出し電線長さ4000mm	電源引込み位置 引込み高さ最下階FL+H 引出し電線長さH+4000mm	(電気工事)
⓪	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200～+200	点検用コンセント100V 引込み高さ最下階FL-200～+200	(電気工事)



ピット荷重分布図

レールに作用する荷重値

P_y	P_x	P_y
かご	PC1	PC2
おもり	PW1	PW2

標準寸法表

(単位:mm)

型式	かご内法 A×B	扉形式	出入口幅 W	昇降路内 X×Y	オーバーヘッドOH		
					昇降行程		
					30m以下	45m以下	60m以下
P-20L-2S-45	1300×2300	2枚片引き	1100	2150×2750	3300	3350	3450
P-20L-2S-60					3400	3450	3550
P-20L-2S-90							
P-22L-2S-45	1400×2300	2枚片引き	1100	2250×2750	3300	3350	3450
P-22L-2S-60					3400	3450	3550
P-22L-2S-90							
P-26L-2S-45	1500×2500	2枚片引き	1200	2350×2900	3300	3350	3450
P-26L-2S-60					3400	3450	3550
P-26L-2S-90							
B-17-2S-45	1800×2500	2枚片引き	1500	2700×2950	3300	3350	3450
B-17-2S-60					3400	3450	3550
B-17-2S-90							
B-20-2S-45	1800×2800	2枚片引き	1500	2700×3200	3300	3350	3450
B-20-2S-60					3400	3450	3550
B-20-2S-90							
B-23-2S-45	2000×3000	2枚片引き	1800	3150×3400	3300	3350	3450
B-23-2S-60					3400	3450	3550
B-23-2S-90							

(単位:mm)

型式	ピット深さP		D1	a	b	c	d	k		e		s	
	標準	最大						※1	※2	※1	※2		
	P-20L-2S-45	1250						1850	1370	835	1315		615
P-20L-2S-60	1400												
P-20L-2S-90													
P-22L-2S-45	1250	1850	1370	835	1415	615	1020	130	120	860	850	145	
P-22L-2S-60													1400
P-22L-2S-90													
P-26L-2S-45	1250	1850	1470	885	1465	640	1070	130	120	960	950	145	
P-26L-2S-60													1400
P-26L-2S-90													
B-17-2S-45	1250	1850	1470	1035	1665	665	1245	130	120	960	950	145	
B-17-2S-60													1400
B-17-2S-90													
B-20-2S-45	1250	1850	1620	1035	1665	690	1245	130	120	1110	1100	145	
B-20-2S-60													1400
B-20-2S-90													
B-23-2S-45	1250	1850	1720	1185	1965	690	1345	130	120	1210	1200	95	
B-23-2S-60													1400
B-23-2S-90													

注1) 降路内法はピット防水仕上後の有効寸法です。

また、ピット部の防水厚さは25mm以下にしてください。

注2) 昇降路内法寸法が特に大きい場合は、中間ビーム(建築工事)が必要となります。

注3) ピット深さが最大寸法を超える場合は、埋戻してください。(建築工事)

注4) ピット下部は原則として使用できません。

注5) 昇降機耐震設計・施工指針(2014年度版)耐震クラスA14が基本仕様です。

耐震クラスS14をご用命の場合は、当社にご相談ください。

注6) k,e寸法は下記条件で異なります。

※1: 遮煙エレベータ乗場ドア適用で、押ボタン・インジケータ・インターホンボックスを戸袋側に設置の場合

※2: 上記以外

注7) k寸法が※1適用の場合、昇降路内法Yは+10mmとなります。

注8) 電源線引出し位置の誤差は±40mm以内としてください。

注9) 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含まず)にしてください。

条件により、必要壁厚が厚くなる場合があります。

また、同コンクリートの強度は21Nmm²(Fc21)以上確保ください。

注10) かこの仕様により特にかご重量が大きい場合や

特に高さのある機器をかご上に設置する場合は

更にオーバーヘッド寸法が必要になります。

注11) 昇降路の状況(隣接居室有、耐震スリット有等)によっては、

昇降路内法が大きくなる場合があります。

注12) 昇降路が鉄骨構造の場合は、当社にご相談ください。

荷重表

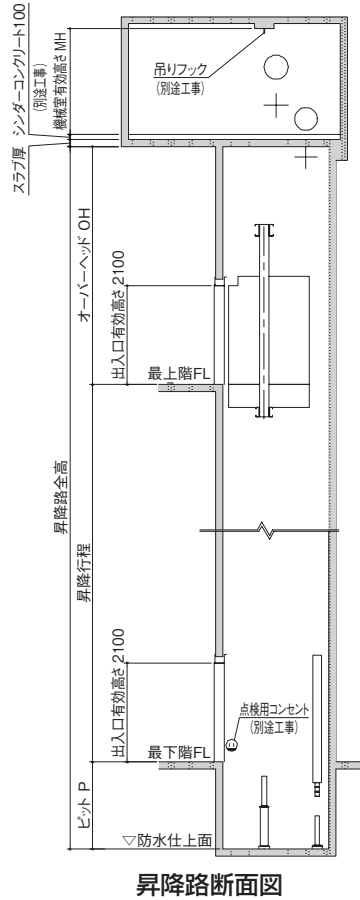
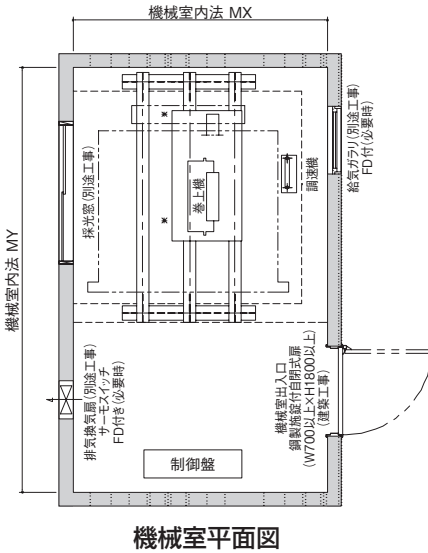
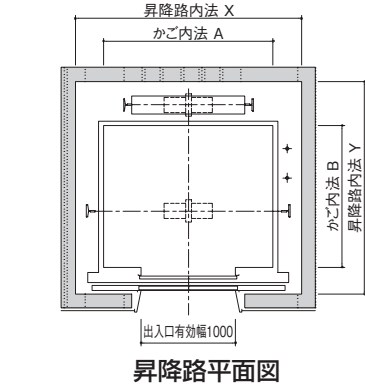
(単位:kN)

型式	ピット部レール下部にかかる荷重 (長期荷重)					ピット部緩衝器にかかる荷重 (短期荷重)		レールに作用する荷重値 (短期荷重)			
	R1	R2	R3	R4	R5	RC (かご側)	RW (おもり側)	PC1	PC2	PW1	PW2
P-20L-2S-45						128	118	9.6	9.0	10.7	5.9
P-20L-2S-60	40	41	41	27	17	159	149				
P-20L-2S-90						164	154				
P-22L-2S-45						138	125	10.1	9.6	11.3	6.2
P-22L-2S-60	43	43	43	29	17	171	158				
P-22L-2S-90						176	164				
P-26L-2S-45						158	140	11.0	10.6	12.7	6.8
P-26L-2S-60	47	47	47	32	18	195	177				
P-26L-2S-90						201	183				
B-17-2S-45						142	136	11.2	10.3	12.3	6.6
B-17-2S-60	44	45	45	31	17	176	172				
B-17-2S-90						181	178				
B-20-2S-45						154	146	12.0	10.9	13.1	7.0
B-20-2S-60	47	47	47	34	17	190	184				
B-20-2S-90						196	190				
B-23-2S-45						169	158	12.9	11.9	14.3	7.6
B-23-2S-60	51	51	51	36	18	209	200				
B-23-2S-90						216	207				

注1) 設計用水平震度0.6の場合を示します。(耐震クラスA14)

注2) オプション機器等によるかご重量増加により、上表の値を超える場合があります。

2.6 非常用エレベータ（機械室あり）

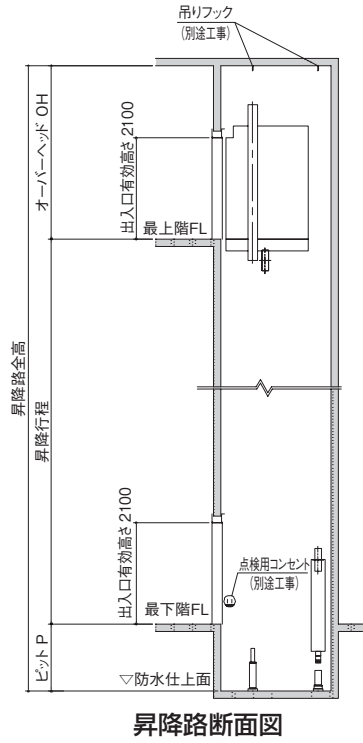
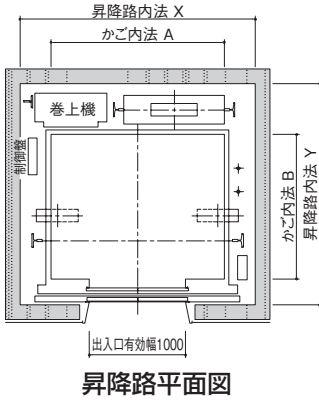


寸法表

型式	定員 (人)	積載 (kg)	速度 (m/min)	かご内法 (mm)	昇降路内法 (mm)	オーバー ヘッド (mm)	ピット (mm)	機械室寸法 (mm)		
				A×B	X×Y	OH	P	MX	MY	MH
E-17-CO	17	1150	60	1800×1500	2400×2250	4850	1550	2700	4500	2050
			90			5050	1850			2250
			105			5250	2150			
E-20-CO	20	1350	60	1800×1700	2400×2450	4850	1550	2700	4700	2050
			90			5050	1850			2250
			105			5250	2150			
E-26-CO	26	1700	60	1800×2000	2400×2750	4850	1550	2700	5000	2050
			90			5050	1850			2250
			105			5250	2150			

- ・本表は耐震クラスA14、地域係数1.0の場合を示します。
- ・エレベータ仕様の変更により、本図の昇降路寸法を超える場合があります。
- ・本図の昇降路寸法はスタンダード天井(天井高さ2300mm)での値です。

2.7 非常用エレベータ（機械室なし）



寸法表

型式	定員 (人)	積載 (kg)	速度 (m/min)	かご内法 (mm)	昇降路内法 (mm)	オーバーヘッド(mm)		ピット (mm)
				A×B	X×Y	昇降行程	OH	P
E-17-CO	17	1150	60	1800×1500	2400×2300	30m超45m以下	3400	1250
						45m超60m以下	3500	
			90			30m超45m以下	3600	1400
						45m超60m以下		
			105			30m超45m以下	3700	1550
						45m超60m以下		
E-20-CO	20	1350	60	1800×1700	2400×2500	30m超45m以下	3400	1250
						45m超60m以下	3500	
			90			30m超45m以下	3600	1400
						45m超60m以下		
			105			30m超45m以下	3700	1550
						45m超60m以下		
E-26-CO	26	1700	60	1800×2000	2400×2800	30m超45m以下	3400	1250
						45m超60m以下	3500	
			90			30m超45m以下	3600	1400
						45m超60m以下		
			105			30m超45m以下	3700	1550
						45m超60m以下		

- ・本表は耐震クラスA14、地域係数1.0の場合を示します。
- ・エレベータ仕様の変更により、本図の昇降路寸法を超える場合があります。
- ・本図の昇降路寸法はスタンダード天井(天井高さ2300mm)での値です。